

「ローズバッド」渋谷本店

改装オープンし カルチャーも発信



1階は店内を複数の空間に分け異なるテイストをミックスした

ローズバッドは17日、東京・渋谷の「ローズバッド」渋谷本店を改装オープンした。1号店として開店してから24年を迎え、ファッションだけでなくカルチャーを発信する旗艦店としての役割を強調。2階の売り場を1階に集約し、2階にはイベントスペースとプレスルーム、

撮影スタジオを設けた。イベントスペースでは期間限定店のほか、ヨガや親子向けワークショップなどを開催する。
売り場面積約175平方メートルの1階はローズバッドの持ち味であるボーダーレス&エイジレスな感覚や無国籍なムードのミックス感を表現。店内をテイスト

の異なる複数の空間に分け、壁には一点物のアートやペイントアートを飾り、楽しい雰囲気仕上げた。商品構成は、金額ベイスで服と雑貨が半々。雑貨の中でも強みとする靴は、全体の約3割を占める。全体で買い付け6割、オリジナル4割とし、豊富な品揃えを重視。ここ数年、売れ筋進捗型のセレクトショップが増えているが、「ローズバッドはお客様の期待の先を満たす存在でありたい」（栗田康治社長）という。改装を記念し、同店限定のリメイク商品を

販売。「ファッションの楽しさを伝えたい」として、同社のデザイナーがビンテージの生地を使って異素材ミックスのTシャツ（1万円）やミリタリージャケット（3万2000円）など一点物を24点作った。2階のイベントスペースでは第1弾として、アフリカ専門の輸入卸アフリカンスクエアによるアフリカ雑貨の期間限定店を24〜26日に開設。今後、「ローズバッドのフィルターを通して、ワクワクする時間を共有できる」イベントを企画していく。